

新月中

意見や時間管理 主体的に



これがイチオシ

木材と瓦で温かな校舎

新月中生のイチオシは校舎です。ふんだんに使われている木材には「自然豊かな地域で、温かみや落ち着きのある環境で学習してほしい」との地域の人々の願いが込められています。屋根には地元の瓦製造の会社から提供していただいた瓦が使用されています。校舎内にはエレベーターや自動ドア付きトイレなどが設置され、共生社会に向けた工夫もなされています。

これからも地域の人々の願いや思いを継承していきながら、この校舎を大切にしていきたいです。

学校名 気仙沼市立新月中学校
所在地 気仙沼市切通100
創立 1998年
電話 0226(22)5340
校長 小野寺 昭人
生徒 138人

新月中学校では一人一人の力を伸ばすため、独自の二つの取り組みを行っています。一つ目は「サークルタイム」です。10年目を迎えた活動で、12の縦割り班ごとに話し合います。テーマは事前に生徒から募集したり、先生方が選んだりします。

「レジ袋有料化は本当に有効か」や「制服は必要か」などさまざま。一人一人が意見を持ち臨む、楽しい取り組みです。二つ目は「TM手帳」です。「Time manag

力を伸ばす独自の活動

ement(タイム マネジメント)の略で「楽しく時間を管理しよう」という意味が込められています。

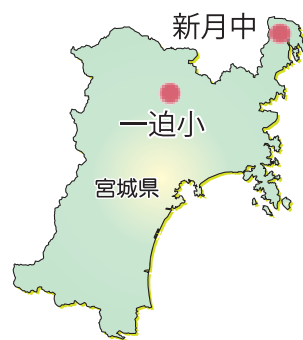
手帳には時間割や生活の目標、振り返りの記入欄があり、計画性を持ち生活できます。毎週金曜の放課後には、次週の予定を知らせる生活委員の放送があり、内容を聴き取って書き込みます。



先生を交えて、それぞれの意見を出し合う「サークルタイム」の様子

編集委員 荒木麗央、石原楓子、横山歩莉、菅原奈子、吉田凌太郎(2年)
尾形聖菜、木下遥香、吉田光太、佐々木和玖人(1年)
指導教員 佐藤寛人、北村歩、和泉悠真、菊池拓、高橋良摩

わが校わがまち スクール通信



今回は 山下小(石巻市) 西多賀中(仙台市)

雪の修学旅行 会津を体感

一迫小

新型コロナウイルスで日程変更

私たちが一迫小学校の6年生が、一番楽しみにしていた福島県会津地方への修学旅行での出来事をご紹介します。

修学旅行は本来なら、9月のまだ暑い日に実施される予定でした。しかし、2年前から続く新型コロナウイルスの影響により、本年度は11月末に変更されました。

その時はもちろん、雪が降ることなど考えるはずもなく、ただ「楽しみが先に延びて残念」という気持ちだけが心に残りました。

迎えた修学旅行の当日、私たちの「会津へ行きたい」というのはやる気持ちは乗せて、バスは高速道路を走っていました。

窓から見える奥羽の山々には雪が積もっています。私たちの周囲にもいつの間にか、雪がちらほら降ってきました。

会津が近づくと雪の量は増え、道路は除雪が行われるほどになりました。「まさか雪の修学旅行になるなんて」。誰もが驚きの顔を隠せなくなる、そんな貴重な体験をした修学旅行となりました。



バスの窓からの見た外の様子。雪の修学旅行となりました

編集委員 佐藤日菜、菅原滯奈(6年)
指導教員 熱海宏明



これがイチオシ

縄文時代の集落 身近に

一迫小はかわら屋根の木造建築でできた自慢の学校です。近くには「山王 囀遺跡」という縄文時代の人々が暮らしていた集落があったことから、上から見ると、再現された竪穴住居、幼稚園を含めて七つの木造の建物がぐるっと円を描くように立っています。

校舎は1998年には当時の建設省(現在の国土交通省)より「公共建築百選」に選ばれました。現在は修復作業が行われています。私たち6年生は卒業ですが、この学校がいつまでも地域の象徴であることを願っています。

学校名 栗原市立一迫小学校
所在地 栗原市一迫真坂新道満30
創立 2013年
電話 0228(52)2229
校長 成瀬 啓
児童 266人